

2016年(平成28年)11月26日(土曜日)

技術開発での 経営改革学ぶ

松阪で講習会

松阪西部商工会の経営講習会が二十四日夜、松阪市飯南コミュニティセンターであり、会員の建設会社、尾



三重大と開発した新技術による経営改革について語る尾鍋社長。松阪市飯南コミュニティセンターで

鍋組(同市飯高町宮前)の尾鍋哲也社長(五)が新技術開発による経営改革について話し、会員二十人が聞いた。

同社は二〇一〇年に、セメントの代わりに自然石を細かく砕いて地盤を補強する環境配慮型の技術を三重大と共同開発。地盤補強という新しい分野の仕事を開拓し、一五年までに累計三千六百九十件の工事を手掛けた。

尾鍋社長は「今持っている技術を別の分野に生かせないかと考えた」ときっかけを説明。開発資金の調達法として、有利な補助金を探して活用することを勧めた。(大沢悠)